



住宅用火災警報器に御注意！ 西日本防災システム

2016 10

2006年 新築住宅に

設置が義務付けられた**住宅用火災警報器**

NBS 119

早いものでもう**10年**が経過しようとしています。

コンセントから電源供給されているもの以外は、バッテリーによって警戒し、警報を送出します。その大切なバッテリーの寿命はほとんどのものは、**10年**です。**注！（市販の9V電池を使うものは2年程度）**

その**期限**が迫っています。

バッテリーもその個体によって微妙な差が生じますので、10年を経過しない時期に寿命を迎える物もたくさんあります。

バッテリーは火災警報器にとって**生命線**です。

バッテリーの劣化は各メーカーによって音声で知らせたり、ブザーが鳴ったり、違いはありますが、必ず知らせてくれます。

ですが警報を発する前に、御自分で**点検**を行って対応してください。

バッテリーの交換ではなく 本体も経年劣化していますので、新しい火災警報器の御購入をお勧めいたします。

神戸市では平成23年6月から既存住宅にも義務化されています。



バッテリーに御注意！



西日本防災システム

NIISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 